

渋川総合病院再編統合問題 特別委員会のあらまし

新病院整備に伴い、市議会では渋川総合病院再編統合問題特別委員会を設置し対応をしています。病院再編統合推進室の報告に対する主な質疑は次のとおりです。

質疑 ヘリポートの設置や救急科の設置は考えているのか。

答弁 新病院は救急医療の拠点であることから、設置の方向で検討します。救急科については、複数の医師の救急センター化を考えています。

質疑 渋川総合病院の診療科目が減少するが、市民の理解が得られるのか。

答弁 診療科目については医師の確保の目的が立てば増やす方向で考えています。

質疑 独立行政法人の3年後の民営化の話があるが、経営に影響は。

答弁 西群馬病院を7対1の看護シフトに変えることや重症心身障害児の診療報

酬の改定、新病院建設による年間8億円の償還など収益の確保が必要となります。**質疑** 市の負担限度額と指定管理料はどの程度になるのか。

答弁 負担額は110億円をベースに算出していますが、限度額の確定はできません。指定管理料は支出しない方向で考えています。

質疑 渋川総合病院の企業債を含めた負担分と跡地の利用についての考えは。

答弁 企業債については今後調整し提出します。跡地については協議会で検討をしたいと思えます。

※次回は西群馬病院及び渋川総合病院の院長に対する質疑を予定しています。

議員全員協議会のあらまし

5月28日及び6月20日の両日開催の、議員全員協議会において、市側から7項目にわたる報告事項があり、協議を行いました。

- 5月28日
- (1) 渋川市スポーツ振興地域活性化構想基礎調査結果の報告について
 - (2) 群馬大学が調査した市のスポーツ実態の内容、結果等の報告がありました。
 - (3) 旧群馬パース学園の寄附に係る受納について
 - (4) 東日本大震災支援物資の市有施設として、寄附の申し込みがあり市は受納したとの報告がありました。
 - (5) 渋川北中学校屋内運動場器具室の火災報告

- 6月20日
- (1) 東日本大震災の記録について
 - (2) 渋川市委託路線バスの見直しについて

今までの経過や今後の除染、指定廃棄物処理などの説明がありました。

議会改革委員会報告

議会改革委員会は、条例に基づく常任委員会や特別委員会と異なり、市民に開かれた議会のあり方などを検討するため、市議会が独自に設置した委員会です。平成24年の委員は、議会運営委員の8人が就任し、

見直しの内容、スケジュール等説明がありました。**(3) 県営住宅入沢団地の代替地について**
渋川ネイブルスクエアを検討との説明がありました。

う意見が多数を占めました。また、最近インターネットでの放映を開始した大泉町議会の例なども検証し、参考としました。

その結果、カメラの台数や経費の問題などまだまだ検討が必要なことはありますが、できれば年度内にインターネットでの放映を目指すことに決まりました。



旧群馬パース学園